
第 93 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

XCIII Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

日時：2015 年 11 月 7 日（土）10:30 - 12:30

場所：関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア) 1002 教室

担当者：土屋 亮

「講読：La nueva gramática básica de la lengua española 第 2 章『語』 2b 語類・語種
第 8 節『限定詞と代名詞』 pp.81-88」

* Fecha y hora: sábado, 7 de noviembre de 2015, de 10:30 a 12:30

* Lugar: Universidad Kwansei Gakuin, Campus de Umeda "K.G. Hub Square", Aula 1002

* Encargado: Ryo TSUCHIYA

* Lectura de la “Nueva gramática básica de la lengua española: Apartado 8 “Determinantes y pronombres””

【報告内容】

まず、本来は 12 月の担当であったところ、11 月に代わっていただいたために、講読内容の順番が入れ替わる
ことになったこととお詫びいたします。

* 下線部は土屋による補足

Clases y subclases de palabras 語の分類および下位分類

【第 1 段落】名詞や形容詞の章でも触れられていない品詞分類の説明。

実詞、形容詞、限定詞（決定詞とも）、代名詞、動詞、副詞、前置詞、接続詞、間投詞

【第 2 段落】限定詞は閉じたカテゴリーである。機能語とも呼ばれる。

【第 3 段落】限定詞に属する語の一部は、種々のカテゴリーで使われるので、「転移可能なカテゴリー」と呼ばれる。

・指示詞/数量詞 {限定詞、代名詞、形容詞、副詞} ・所有詞 {限定詞、形容詞}

・疑問詞/関係形容詞/感嘆詞 {限定詞、代名詞、副詞}

一方、冠詞や人称代名詞は一つのカテゴリーに属する。(←もちろん異論もある)

Los determinantes 限定詞

Características 特性

普通名詞の前に置き、ある特定の存在に言及することが可能な表現(名詞句)を構成する

限定詞の区分

1. 冠詞、指示詞、所有詞のみとする考え方

2. 1.に数量詞、関係詞、疑問詞、感嘆詞を加える考え方

Nueva gramática は 2.を採用する

Características formales 形態上の特性

a) 限定詞の大部分は性数の変化(屈折)がある

指示詞と数量詞の中性形は代名詞である

b) 全ての限定詞にあてはまるわけではないが、音声的に弱くなりがちである

定冠詞と所有形容詞の前置形は強勢がない。後者はいくつかの不定語と同様、語尾脱落形を採用する (mío→mi)

Características semánticas 意味論上の特性

- a) 名詞とそれに付加しうる修飾要素や補語は、名詞グループ（名詞句）を形成し、それに限定詞が前置される。そして元のグループよりも大きな名詞グループを作る
- b) 限定詞は指示的表現（指示対象を有する表現）の形成に参加する
gato だけではどの猫も指示できないが、*el gato*、*este gato* はある発話行為において特定の指示対象を有する（さっき車にひかれるのを見てしまったその猫、いま眼前にいるこの猫）→これが限定詞（決定詞）の名前の由来
- c) 限定詞は普通名詞の意味の外延を縮小する
- d) 通常、単独で指示機能を有する固有名詞や代名詞とは共起しない。ただし、強調や親愛の情を示す用法、限定の用法はある

Características sintácticas 統語論上の特性

- a) 名詞と様々な修飾語句と補語からなる構成要素（形容詞や前置詞句、同格、関係節）に前置する。もし限定詞が後置する場合、それは限定詞ではなくなる。なぜなら他の限定詞が必要になるからである
- b) 限定詞があることによって名詞グループは種々の統語機能を果たせるようになる（特に可算名詞の単数形の場合）この統語機能と言うのは、代名詞や固有名詞と共有する特性である
- c) 限定詞は名詞グループの最も外に位置する構成要素である（←*todos los días* は？）
- d) それ自身の補語は持たない（*el coche de Juan* における *de Juan* は *coche* が取っている補語であって、*el* が直接取っているわけではない、みたいなことか）

Clases de determinantes 限定詞の種類

限定詞は大きく二つのグループに分かれる。

- 1) *el*、*mi*、*este*、*cuyo* のように「定」の限定詞で、指示対象の同定を助ける。
- 2) 数と量を表す「量化」の限定詞。ある集合の「個」の数を示したり、
「物質 *materia*」の量を示す（→数量詞・量化詞 *cuantificadores* と呼ぶ）

しかし、全ての量化詞が「不定」という訳ではない。なぜなら、*todo*、*cada*、*ambos* が「定」であるから。反対に、冠詞の *un* は「不定」である（*Tengo un buen resfriado*）が、量化詞の *uno*（*Solo tomé una cerveza*）との区別は常に容易というわけではない。

Determinantes definidos 「定」の限定詞

定の限定詞とは、*el*（定冠詞）、*este*（指示形容詞）、*su*（所有形容詞）であり、これに *cuyo*、*todo*、*ambos*、*cada* が加えられる。直接目的語の名詞グループとしては、通常 *haber* とは共起できない。通例、*Quién*～、*Qué*（＋名詞）、*Cuál(es)*（＋名詞）の疑問文に答えられるのが定の限定詞を伴った名詞グループである。

Cuantificadores 数量詞・量化詞

量化詞は、「強い量化詞」すなわち「定」の、「弱い量化詞」すなわち「不定」の量化詞に分けられる。後者は、存在(*alguno*)、評価(*mucho*)、基数(*cuatro*)、比較(*más*)、無制限・一律(*cualquiera*)に下位区分できる。

不定の量化詞を冠する名詞グループの2つの特徴：

- a) あるものを談話上に初めて登場させることができる
- b) haber の直接補語に通常なれる

Los pronombres 代名詞

代名詞とは次のような特徴を示し、形態変化を伴う語からなる文法上のカテゴリーである。

- a) その数は限られていて、閉じられたグループである
- b) 少数の意味特性しかなく（内包は狭く）、その外延、つまり指示対象を指示する可能性はとても広い
- c) 固有名詞と同じように、限定詞がなくとも指示対象を指示できる。*Ella nos lo dijo.*においては、3つの代名詞がそれぞれ指示的表現である。
- d) 統語的には名詞グループ（名詞句）と同じように振るまう。名詞グループに固有の機能を果たしたり（*¿Qué dices?*）、それらを置換したり（*para María*→*para ella*）、名詞グループと等位接続できたり（*tus amigos y tú*）、同格が可能（*nosotros, los ciudadanos*）であるからである。

代名詞は交差するカテゴリーである。なぜなら、転移可能ないくつかのカテゴリーに対応する要素が属するからである（最初のページ p.81 の【第3段落】を参照）。

Morfología de pronombres 代名詞の形態論

代名詞の形態論的素性は、明示的な場合（*manifiestos* / *explícitos*）と非明示的な場合（*encubiertos* / *implícitos*）がある。前者はその変異を形態に反映させ（*yo* に対して *mi*[格]、*él* に対して *ella*[性]）、後者は一致によってしか表すことができない（*sí mismo* に対して *sí mismos*[数]）。

代名詞における明示的に表される素性には以下のものがある。

- a) 数：単数と複数の別は大多数の代名詞の形態に影響を与える。例外は *se* や *que* など。
- b) 性：男女を区別するもの（*nosotros/nosotras*）、男・女・中（*él/ella/ello*）を区別するもの、性を区別しないもの（*quién/que/cualquiera*）、中性限定のもの（*algo/nada*）がある
- c) 人称：人称代名詞と所有形容詞（前置形・後置形ともに）
- d) 格：人称代名詞のみ。強勢語は、正格または主格（*yo*）と斜格あるいは前置詞格（*mi*）において見られる。弱勢語では対格と与格が区別される（*Me visita. / Me regala flores.*）（←*Lo visito. / Le regalo flores.*のほうがよかったのでは）
- e) 再帰性：人称代名詞のみ。強勢語（*sí*）と弱勢語（*se*）。

Significado de los pronombres 代名詞の意味

代名詞の特徴は少数の意味内容しか持たないという点。人称代名詞 *sí* は性と数の非明示的な素性を持つ以外は、斜格と再帰性についての明示的な素性を示す。代名詞の素性は基本的に文法的な情報を表示するが、語彙的な種類を区別するものもある（つまり意味上の情報を示すものもある）。例えば、「人間である」かどうかという観点からの区別。*alguien* vs. *algo*、*nadie* vs. *nada*、*quién* vs. *qué*。

代名詞は内包が小さいため、広範な外延を持つ。そのため、名詞グループを置換するという最も知られた特徴の一つを有し、ここからその名（代名詞 *pro-*、*nombre*=名詞の代わり）が来ている。とはいえ、人称代名詞は、それらが指す個人の代替物であると分析するのは誤りで、可変の指示対象を持つものの、意味は単一であるような指示的表現と考えるのが正しい。つまり、談話

が供するのは代名詞の意味ではなく、その代名詞に対応する指示である。この点は他の名詞グループも同じであり、*este ombú* は単一の意味を有しているが、それぞれの談話において初めて指示対象が決まる。

Pronombres y referencia 代名詞と指示

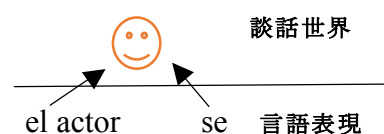
Significado, referente y expresiones referenciales 意味、指示対象、指示的表現

指示対象とは、ある具体的な発話において言語表現が指示する存在物のことであり、指示対象 *referente* と意味 *significado* は異なる。1520 年と 1570 年における *el actual rey de España* の「意味」は同じであるが、指示される人物（つまり「指示対象」）は異なる（前者は *Carlos I*、後者は *Felipe II*）「指示 *referencia*」が可能な語句は指示的表現 *expresiones referenciales* と呼ばれる。固有名詞、代名詞、限定詞を伴った名詞グループがそうである。

(p.87)二つ以上の表現が同一の存在物を指示するとき、それらは同一指示表現 *correferenciales* である。同一指示は、通常、名詞グループと代名詞との間で確立される。再帰表現においては主語と再帰代名詞が同一の個体を指す(*El actor se miraba en el espejo.*)。

限定詞と代名詞は指示において非常に重要な役割を果たし、

代名詞は前方照応、後方照応、再帰、直示の代名詞に分けられる。



(図：土屋)

Pronombres anafóricos y catafóricos 前方照応および後方照応の代名詞

前者は先行する名詞グループ(先行詞 *antecedente*)と同一指示を行なう代名詞(*María confía en sí misma.*)、後者は後続する名詞グループ(後項 *consecuente*)と同一指示を行なう(*La gente que la conoce dice maravillas de María.*)。

Pronombres reflexivos 再帰代名詞

通例、文の主語である名詞グループと同一指示を行なう。*Ramón se lava las manos. Ángel hablará de sí mismo.* 弱勢語の再帰代名詞は、強勢形と重複することも可能。*No se ayudan a sí mismos.*

Deícticos 直示表現

直示 *deixis* とは、談話の参与者（人称直示）、その談話がなされる場所（空間直示）や時間（時間直示）を座標として指示される存在物を同定する指示の一種である。人称代名詞や所有詞は人称直示、指示詞は空間直示を行なう。時間直示は、時の副詞(*ahora*、*antes*、*después*)や動詞の時制に影響を与える。

Otros aspectos del análisis gramatical de los pronombres 代名詞を文法的に分析する際の他の諸点

Elipsis, referencia y pronombres 省略、指示、代名詞

省略とは、伝達すべき内容において暗黙に了解される表現が沈黙することである。*María va al cine, pero yo no iré (al cine).* 談話においては、聞き手は省略されている要素を復元し理解する。限定詞の後では、名詞の省略が頻繁である

en esta casa y en aquella ~~casa~~

unos árboles frondosos y otros ~~árboles~~ secos

mis padres y los ~~padres~~ tuyos

tres días de trabajo y tres ~~días~~ de descanso

従来の文法観ではこれらの限定詞を代名詞として分析していたが、現在では、省略されている要素は、音形を持たないが（発音されないが）、文脈上そこにあり、意味を解釈するためにも必要だとする分析に取って代わられている。つまり、*en esta casa y en aquella* (*aquella* は代名詞) とする説と、*en esta casa y en aquella ~~casa~~* (*aquella* は限定詞) とする説が可能である。しかし、中性の要素の場合には、省略はない。なぜなら、スペイン語に中性の名詞はないからである。したがって、*esto* や *ello* などは代名詞として見なされる。(←*lo* はどうする？RAE は *lo* を冠詞と考えるので都合が悪い)